

さいたま市立内谷中学校



教育目標 ・進んで学ぶ ・心豊か ・たくましく

令和2年 1月31日

第468号

〒336-0034 さいたま市南区内谷 6-10-1 電話 048-861-7571 <http://uchiya-j.saitama-city.ed.jp>

「働くこと」

校長 丹 能成

令和2年1月21日（火）から23日（木）までの3日間、1年生は、95の事業所に御協力をいただき、さいたま市中学生職場体験事業「未来（みら）くるワーク体験」を実施しました。

子どもたちは、それぞれの職場で、生き生きと活動していました。子どもたちが、働く喜びや苦労などを知るとともに、働くことや学ぶことの意義を考えるよい機会となりました。

事業所の皆様には、御多用中にもかかわらず、職場体験の場を御提供くださいましたことを、また、子どもたちにあたたかく御対応くださいましたことを心より感謝申し上げます。

学校で使うチョークをはじめとする文房具等の製造販売を行っている『日本理化学工業』という会社があります。この会社は、全社員の70%以上が知的障害のある方で、障害者雇用に力を入れている企業として、テレビや新聞、雑誌等に何度も取り上げられています。この会社の工場の敷地内に『働く幸せの像』という碑があります。そこには、次の言葉が刻んであります。

導師は人間の究極の幸せは、
人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、人から必要とされること、
の4つと言われました。
働くことによって愛以外の3つの幸せは得られるのだ。
私はその愛までも得られると思う。

これは、この会社の前社長 大山 泰弘（おおやま やすひろ）さんの言葉です。大山さんは、お寺の住職（導師）の教えを聞いて、働くことの意味に気付き、誰もが「働く幸せ」を実感できる会社づくりに取り組みました。

当時、大山さんの会社は、わけあって障害者雇用を少しずつ進めていました。大山さんは、障害のある方たちが休まず毎日一生懸命に働く姿を見て、施設にいれば楽なのに、なぜ大変な思いをして工場で働こうとするのか、いつも不思議に思っていました。ある日、法事で訪れていたお寺の住職に、このことを何気なく質問しました。すると住職は、人間の究極の幸せは4つあり、働くことによってそのうちの3つの幸せが得られる。働きたいと願うのは、社会で必要とされて、本当の幸せを求める人間の証であると答えました。

大山さんは、気付きました。人は働くことによって、ほめられ、人の役に立ち、必要とされるからこそ、生きている喜びを感じることができるのだと。そして、本当の幸せを手に入れることができるのだと。

子どもたちにとって、誰かの役に立った経験や、誰かに助けられたり、やさしくされたりした経験は、将来の生き方に大きく影響します。子どもたちには、いつでも、どこでも、自分以外の人のことを気かけ、進んで誰かの役に立ち、たくさん人から「ありがとう」と言ってもらえるような毎日を過ごしてほしいと思っています。本当の幸せは、そんな毎日の延長線上にあるのだと思います。たくさん「ありがとう」の声が飛び交う内谷中学校でありたいと切に願います。

昨年の11月に実施しました学校評価では、保護者・地域の皆様に御協力をいただき、誠にありがとうございました。現在、いただいた御意見や集計結果をもとに、次年度へ向け、改善すべき点や新たに取り組むべき点などを取りまとめているところです。その概要につきましては、別紙を御覧ください。引き続き、御理解と御協力をお願い申し上げます。